

OHSMSとは？

労働安全衛生マネジメントシステム

Occupational health and safety management systems

- ・1999年にOHSAS18001規格を発行
- ・英国BS8800規格がベース
- ・世界30カ国で発行
- ・国内では建設業,製造業で約1,000件が認証取得

OHSAS18001の導入ステップ

文書作成(システムの確立)



文書に基づく実行(システムの実行)



社内チェックと全体見直し(内部監査)



審査 → 認証取得

OHSAS18001の構成

4. OHSMS要求事項(ISO14001に準拠)

4.1 一般要求事項

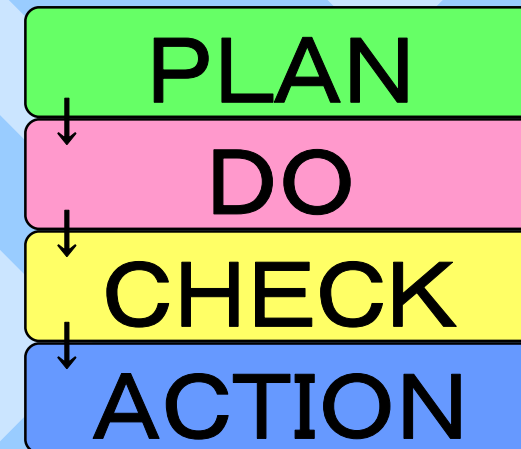
4.2 労働安全衛生方針

4.3 計画

4.4 実施及び運用

4.5 点検

4.6 マネジメントレビュー



OHSAS18001の重点

《著しい危険源》

重点テーマ
⇒ 転落の防止！

会社の中で最も事故につながる可能性のある危険源は何か？

(例) 高所作業

＜視点＞

物理面

・足場材が不安定

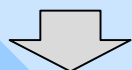
肉体・精神面

・風邪ぎみ、悩みごと

目標と防止策
をルール化！

何をすれば良いの？

文書：労働安全衛生
マニュアルの作成



実行

(教育して周知徹底)



記録：実施記録を残す

例) KYの記録、設備点検記録

《ステップ》

- ①方針を決める
- ②リスクアセスメントをする
- ③著しい危険源を特定
- ④事故防止の目標と実施計画を作る
- ⑤労安法など関連法規制を調べる
- ⑥事故発生時の対応方法を決める
- ⑦関係者に教育する
- ⑧ルールを守らせる
- ⑨実施記録を残す

審査の流れ

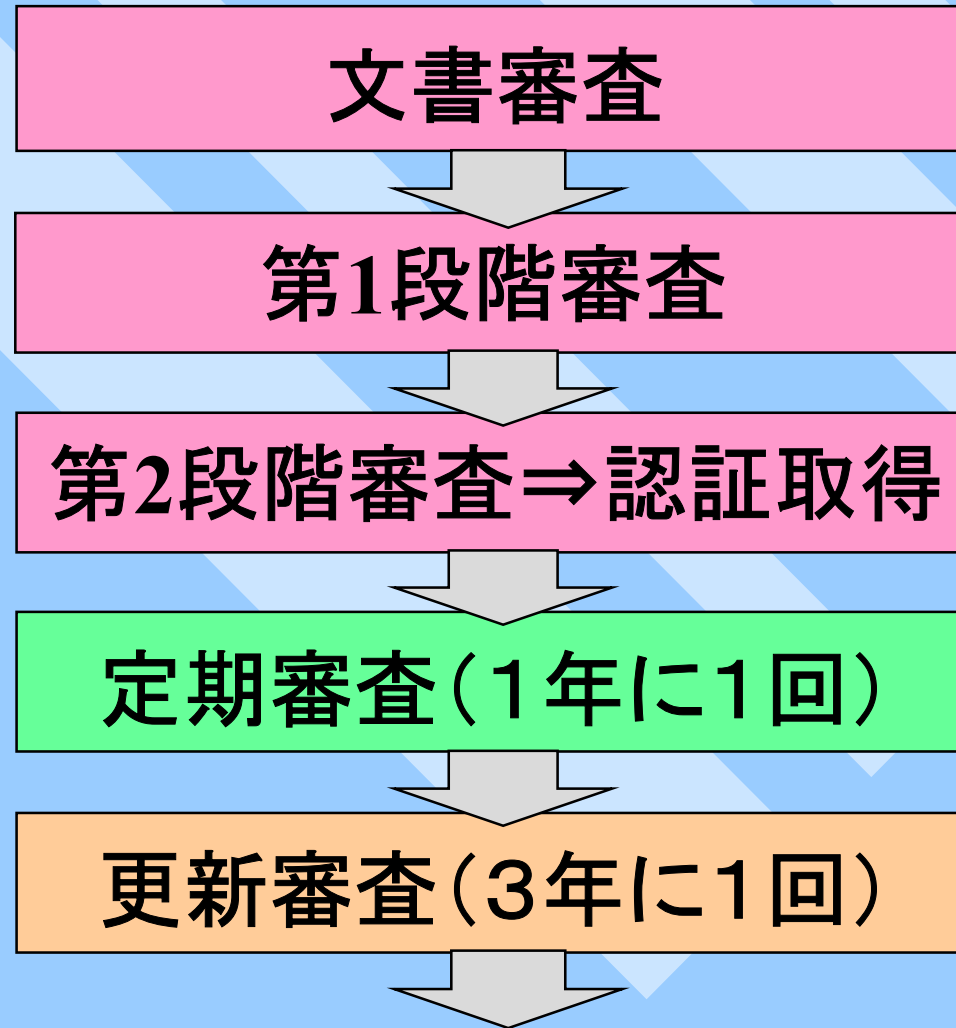
文書審査

第1段階審査

第2段階審査⇒認証取得

定期審査(1年に1回)

更新審査(3年に1回)



OHSAS18001導入の効果(例)

1. 事故発生による信用低下の防止
2. 従業員、協力業者の安全意識の向上
3. 潜在的リスクの軽減による事故の予防
4. 事故災害によるコスト負担の低減
5. 事故・緊急事態への対応力の向上
6. 社会的信用の持続
7. 企業イメージの向上